科目ナンバリング	U-LAS21 10004 SJ48						
授業科目名 <英訳>	ドイツ語ＩＢ（文法） D1106 Primary German B			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 福田　覚		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	水4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

ドイツ語の文法の基礎を学ぶ。一通りの文法体系を自分のものにすること、「読む」という面では辞書をしっかり使えるようにすることが目標。また、今後のためにも、外国語を主体的に学ぶ習慣を再構築してもらいたい。

[到達目標]

初級レベルのドイツ語の文法を理解し、辞書を用いながらこの段階のテキストが読めるようになること。

[授業計画と内容]

この講義はフィードバック（方法は別途連絡）を含む全15回で行う（試験を除く）。

テキストに沿ってドイツ語の文法を段階的に習得していく。後期は、10課から18課まで進む予定（※ただし前期の進み具合によっては９課から）。動詞の様々な面を中心に学ぶ。
10分離動詞、命令形
11再帰
12接続詞、副文
13zu不定詞、非人称
14形容詞の比較
15関係文
16受動態
17～18接続法
（各項目につき1.5回程度で取り組んで、９の項目を14週でこなす予定）
コンスタントなペース配分を目標にする。声に出してみる、辞書を引いてみる、問題をやってみるといった予習がスムーズな授業参加の前提で、授業時間中に整理と定着を図る。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、原則として、学期末の試験による。ただし、学習習慣の確立も重要なので、１割程度、受講の姿勢も加味する。（後者を「平常点」と呼ぶのであれば「平常点」は受講姿勢が10割ということで、考え方は以下の通りです。）

※予習がなされていること、出席票の記入ができていることを重視します。
※予習は、「分からない状態」を縮減するためにできる努力をしてください。そうして予習したものに結果的にまだ間違いがあることは問題ではありません。
※欠席を減点の対象とすることはしないものの、出席することでリズムが生まれ、気づきや定着につながり、最も無理なく学習できて、結果的には評価にもつながるはずなので、出席を心がけてください。
※共同学習の雰囲気とルールを大事にするという観点から、私語、スマホ操作、居眠り、予習不足

ドイツ語ＩＢ（文法） D1106(2)へ続く↓↓↓

ドイツ語ＩＢ（文法） D1106(2)

（予習に間違いがあるという意味ではありません）、出席票の記入漏れや未提出といったものは評価に含める可能性があります。

[教科書]

大川勇・恒木健太郎・石澤将人 『読むためのドイツ語文法』（郁文堂）ISBN:978-4-261-01249-1

[参考書等]

（参考書）
中島・平尾・朝倉 『必携ドイツ文法総まとめ－改訂版－』（白水社）ISBN:978-4-560-00492-0
あくまでも参考書で、必須ではありません。授業中には用いません。

[授業外学修（予習・復習）等]

声に出してみる、辞書を引いてみる、問題をやってみるといった予習が授業参加の必須の前提。また、試験までに何周もするつもりで、復習して定着を図ること。自分なりの外国語学習のペース配分を確立してもらいたい。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]